

予算事業について

DX・GXによる省力化・経営改善支援

【担当部署】
・物流・自動車局（旅客課）・鉄道局（鉄道事業課）
・海事局（内航課）・航空局（航空事業課）

地域公共交通のリ・デザインと社会的課題解決を一体的に推進するため、**交通DX・交通GXにより交通分野における省力化・利便性向上を通じた経営力強化を支援します！**

補助対象事業者

旅客自動車運送事業者、鉄軌道事業者
離島航路・本邦航空運送事業者 等

補助対象経費

機器・システムの導入にかかる初期費用
（機器購入費、システム開発費、設置工事費等）

交通DX

新たな決済手段の普及・拡大

補助率 1 / 3

補助対象

クレジットカードタッチ決済、二次元コード決済、交通系ICカード決済にかかる機器等の導入・更新
※新規導入・機能向上を伴う更新・単純更新の類型ごとに優先順位を付けて補助を行う可能性がある。



デジタル技術活用等による省力化等の推進

補助率 1 / 2

補助対象

- ・乗務日報自動作成システムの導入 ・運行管理支援システムの導入
- ・配車アプリの導入 ・スマートバス停の導入
- ・列車位置情報提供システム等の導入
- ・船客予約システム等の導入
- ・自動チェックイン機の導入



交通GX

補助率 1 / 2

補助対象

- ・EVの充電にかかる電力の使用を最適化するエネルギーマネジメントシステムの導入
- ・旅客施設のLED照明化等
- ・船舶の省エネエンジン等の導入
- ・空港内車両（トレーイングトラクター等）のEV化

問合せ先

自動車・海事・鉄道関係：各地方運輸局担当（別紙参照）
航空関係：航空局航空事業課（03-5253-8574）

申請期間

（自動車関係）令和7年4月以降予定
（鉄道関係）令和7年4月以降予定
（海事関係）令和7年4月以降予定
（航空関係）令和7年3月以降予定

地方誘客に向けた「観光の足」の確保

－ 交通サービス対応支援事業／公共交通利用環境の革新等事業 －

【担当部署】
・物流・自動車局（旅客課）
・海事局（内航課、外航課）
・鉄道局（都市鉄道政策課、鉄道サービス政策室、鉄道事業課）
・航空局（総務課企画室）

「地方ゲートウェイ」における二次交通へのアクセス円滑化・利便性向上の支援メニューを新たに加え、インバウンドの地方誘客を支える公共交通機関における受入環境整備を一層強力に推進します！

補助対象事業者

交通事業者または旅客施設管理者またはそれらを含む団体

補助率

1 / 3 等 ※1

補助対象

多言語対応(事故・災害時等を含む)



・多言語表記等



・案内放送の多言語化



・タブレット端末、携帯型翻訳機等の整備



・多言語バスロケーションシステムの設置



・インバウンド対応型鉄軌道車両の導入

無料Wi-Fiサービス



・旅客施設や車両等の無料Wi-Fi整備



トイレの洋式化等



・洋式トイレの整備



キャッシュレス決済対応



・全国共通ICカードの導入



・QRコードやクレジットカード対応、企画乗車船券のICカード化



・企画乗車船券の発行



・レンタカーのキャッシュレス対応

非常時のスマートフォン等の充電環境の確保 ※2



・非常用電源装置、携帯電話充電設備等



旅客施設や車両等の移動円滑化(大きな荷物を持ったインバウンド旅客のための機能向上)



・LRTシステムの整備



・連節バスの導入



・ジャンボタクシーの導入



・鉄道車両の荷物置き場の設置



・船内座席の個室寝台化

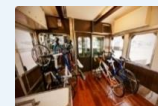
移動そのものを楽しむ取組や新たな観光ニーズへの対応



・観光列車



・魅力ある観光バス



・サイクルトレイン、サイクルシップ



レンタカーの外国人ドライバー支援



・ドライブ支援アプリによる情報提供



・専用ステッカーの普及

バス・タクシードライバーへの外国語接客研修



地方ゲートウェイの刷新(新規)



・乗り場環境整備
駅・空港等の交通結節点における、ライドシェア等の二次交通の乗り場整備・改良



・待合環境整備
ライドシェア等の二次交通との乗換えを想定した、駅の待合環境の整備・改良

問合せ先

自動車・海事・鉄道関係：各地方運輸局担当（別紙参照）
航空関係：航空局総務課企画室（03-5253-8695）

申請期間

自動車関係：令和7年4月以降（予定）
鉄道・海事・航空関係：随時

主な補助メニュー案

※詳細調整中		補助対象事業者			
バリアフリー化設備促進等事業		乗合	貸切	タクシー	レンタカー
1	ノンステップバス	○			
2	リフト付きバス	○			
3	エレベーター付きバス	○			
4	ユニバーサルデザインタクシー（レベル1）			○	
5	ユニバーサルデザインタクシー（レベル準1）			○	
6	福祉タクシー（リフト付き）			○	
7	福祉タクシー（スロープ付き）			○	
8	障害者用ICカード	○			
9	バスターミナルの移動円滑化、待合・乗継環境の向上、情報提供	○			
10	タクシー乗り場の移動円滑化、待合・乗継環境の向上、情報提供			○	

交通DX・GXによる経営改善支援事業		乗合	貸切	タクシー	レンタカー
1	運行管理支援システム	○	○	○	
2	乗務日報自動作成システム	○	○	○	
3	車両動態管理システム	○	○	○	
4	各種申請書類の作成支援システム	○	○	○	
5	運行計画（ダイヤ・運行系統図等）作成支援システム	○	○	○	
6	ODデータ・乗降人数等自動集計システム	○	○	○	
7	売上・利用者動向分析システム	○	○	○	
8	事故情報管理システム	○	○	○	
9	車検・定期点検・整備管理システム	○	○	○	
10	乗務シフト自動作成システム	○	○	○	
11	勤怠管理システム	○	○	○	
12	営業所・乗務員管理システム	○	○	○	
13	売上集計・記録システム	○	○	○	
14	会計管理用事務処理系システム	○	○	○	
15	車内空間を活用したデジタル広告	○	○	○	
16	コールセンターシステム	○	○	○	
17	スマートフォン等モバイル端末を使った集客に繋がる仕組み	○	○	○	
18	デジタルを活用した利用者へのPRや意見収集	○	○	○	
19	混雑状況提供システム	○	○	○	
20	スマートバス停	○			
21	車内乗客への遠隔案内システム	○	○	○	
22	配車アプリ			○	
23	乗務日報自動作成ソフト	○	○	○	
24	輸送実績報告書等帳票自動作成システム	○	○	○	
25	クレジット決済機器	○	○	○	
26	交通系IC決済機器	○	○	○	
27	二次元コード決済機器	○	○	○	
28	その他のキャッシュレス決済機器	○	○	○	
29	その他のDXに資するシステム等	○	○	○	
30	調査等	○	○	○	

人材確保支援事業		乗合	貸切	タクシー	レンタカー
1	二種免許取得のための教習	○	○	○	
2	二種免許取得のための受験資格特例教習	○	○	○	
3	人材確保イベントの参加・開催	○	○	○	
4	その他、人材確保のためのPR	○	○	○	
5	UD研修の受講			○	
6	観光ドライバー認定講習の受講			○	
7	子育てタクシードライバー研修の受講			○	
8	運転手実技講習の受講	○	○	○	
9	その他運転手向け研修の受講（法定研修を除く）	○	○	○	
10	自社で実施する研修等の開催	○	○	○	

交通サービス利便向上促進事業		乗合	貸切	タクシー	レンタカー
1	連節バス	○			
2	P T P S 車載器等	○			
3	BRTの停留施設の整備	○			
4	サイクルバス	○	○		
5	水陸両用バス	○	○		
6	オープントップバス	○	○		
7	上記以外のバス（例：レストランバス 仮想現実等の車内でエンターテインメントを提供する車両等）	○	○		
8	ジャンボタクシー			○	
9	多言語案内用タブレット	○	○	○	○
10	多言語翻訳システム機器	○	○	○	○
11	多言語案内サイネージの導入	○	○	○	○
12	ホームページの多言語表記	○	○	○	○
13	多言語研修の実施	○	○	○	○
14	多言語バスロケーションシステムの導入	○			
15	その他の多言語化に関する取組	○	○	○	○
16	日本の交通ルール説明用多言語パンフレット等作成				○
17	訪日外国人旅行者運転中ステッカー作成				○
18	訪日外国人旅行者ドライブ支援アプリ開発				○
19	無料公衆無線LAN（無料Wi-Fi）	○	○	○	
20	クレジット決済機器	○		○	○
21	交通系IC決済機器	○		○	○
22	二次元コード決済機器	○		○	○
23	その他のキャッシュレス決済機器	○		○	
24	E T C 読取機・プリンターの導入				○
25	情報端末への電源供給機器	○	○	○	○
26	非常用電源装置	○	○	○	○
27	バス車両又はバスターミナルのトイレの洋式化	○	○		

地方ゲートウェイの刷新事業		詳細調整中
1	二次交通への円滑なアクセスに資する乗場の設置	
2	二次交通への円滑なアクセスを目的とした乗場環境の整備・改善	
3	AIカメラの設置・導入	
4	サイネージの設置・導入	
5	二次交通への円滑なアクセスに資する乗場環境の整備・改善のためのその他機器の設置・導入	

観光二次交通の高度化事業		詳細調整中
1	車両導入（購入・リース）	
2	配車管理システムの構築・導入に係る諸費用	
3	車体標示の導入	
4	ドライブレコーダーの設置・導入	
5	その他の運行に必要な装備の導入等	
6	多言語対応機能等の端末の構築・導入に係る諸費用	
7	公共・日本版ライドシェア導入時における運転者募集	

交通サービス利便向上促進事業

① キャッシュレス決済

- 「働きやすい職場認証」の取得が必須
- 黒字事業者は対象外

② ジャンボタクシー、連節バス・オープントップバス等

- 追加の条件は設定せず

③ 多言語化、Wi-Fi、非常用電源等

- 追加の条件は設定せず

要件は財政当局との協議により今後詳細を決定していくことになります。

※新規メニューとして

- ・「観光地の二次交通の高度化」
（二次交通に係る車両購入費等の導入コスト支援）
- ・「乗場・待合環境御整備等の二次交通へのアクセス円滑化」に関する支援を追加

地域公共交通確保維持改善事業

交通DX・GXによる省力化・経営改善支援

① 業務改善に資するシステム（運行管理システム、日報自動作成システム等）

- 「働きやすい職場認証」の取得が必須
- 黒字事業者は対象外

② 配車アプリ

- 「働きやすい職場認証」の取得が必須
- 黒字事業者は対象外
- 普及率が高い都道府県の事業者は対象外

③ キャッシュレス決済

- 「働きやすい職場認証」の取得が必須
- 黒字事業者は対象外

※新規メニューとして「交通空白解消緊急対策事業」を追加

人材確保支援事業

- 「働きやすい職場認証」の取得が必須

バリアフリー化支援(バリアフリー化設備等整備事業)

①ノンステップバス

- 一事業者あたり30台まで申請可

②ユニバーサルデザインタクシー

- 黒字事業者は対象外
- 地域毎の普及率により申請可能台数が決定(一事業者あたり最大5台まで)

③福祉タクシー、障害者ICカード、段差解消事業等

- 追加の条件は設定せず

今後のスケジュール

令和7年

3月 事業者説明会実施

4月 交付申請受付開始

令和8年

2月末 完了実績報告期限

※これまで実施していた、要望調査及び内示は行いません。

※原則、必要な手続きが完了した事業者から順次交付決定します。

要件は財政当局との
協議により今後詳細を
決定していくことになり
ます。

バリアフリー化設備等整備事業の間接補助化

- ・令和5年度補正予算では交通サービス利便向上促進事業（インバウンド）及び交通DX・GX事業を間接補助化したところ、令和6年度補正予算ではそれらに加えバリアフリー化設備等整備事業も執行団体に委託する予定。